

平成29年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月13日

上場会社名 株式会社ファーマフーズ 上場取引所 東
 コード番号 2929 URL http://www.pharmafoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金 武祐
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部部長 (氏名) 青笹 正義 TEL 075-394-8600
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第1四半期の連結業績（平成28年8月1日～平成28年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第1四半期	878	37.1	△438	—	△425	—	△424	—
28年7月期第1四半期	640	—	△374	—	△341	—	△338	—

(注) 包括利益 29年7月期第1四半期 △424百万円 (—%) 28年7月期第1四半期 △355百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第1四半期	△14.64	—
28年7月期第1四半期	△11.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第1四半期	4,665	3,070	65.5	105.32
28年7月期	4,472	3,496	77.9	119.96

(参考) 自己資本 29年7月期第1四半期 3,057百万円 28年7月期 3,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	—	—	—	—
29年7月期	—	—	—	—	—
29年7月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年7月期の連結業績予想（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	18.8	△440	—	△420	—	△410	—	—
通期	4,500	30.0	50	—	90	268.7	80	208.9	2.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年7月期1Q	29,034,200株	28年7月期	29,034,200株
② 期末自己株式数	29年7月期1Q	一株	28年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年7月期1Q	29,034,200株	28年7月期1Q	29,034,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日本銀行による経済政策や金融緩和政策の継続を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、中国経済の減退や円高の影響等により先行き不透明な中で推移いたしました。

このような環境下において、当社は「医薬」(Pharmaceuticals)と「食」(Foods)の融合「ファーマフーズ(Pharma Foods)」を目指し、積極的な事業展開を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は通信販売事業の拡大等により、878百万円(前年同期比37.1%増)となりました。利益面では、通信販売事業での将来を見据えた積極的な先行投資を行い、広告宣伝費700百万円を計上した結果、営業損失は438百万円(前年同期は374百万円の損失)となりました。

この他、持分法による投資利益14百万円等を計上した結果、経常損失は425百万円(前年同期は341百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は424百万円(前年同期は338百万円の損失)となりました。

各セグメントの業績の概要は、次のとおりです。

<機能性素材事業>

機能性素材事業では、当社グループの根幹である機能性素材の開発、販売および機能性素材を配合したOEM(original equipment manufacturer)製品の企画、販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間では、引き続き「GABA(ギャバ)」の展開に注力してまいりました。国内市場では「機能性表示食品制度」への取り組みを積極的に進めており、多くの食品メーカー・飲料メーカーから問い合わせを頂いております。今秋から、江崎グリコ株式会社より「メンタルバランスチョコレートGABA」が機能性表示食品として新たに発売開始されており、これに伴い同社向けの売上が好調に推移しました。また、他のメーカーからも「GABA」の機能性表示食品が順次、発売されており、認知度が広まっています。

現在、「GABA」の機能性では「ストレス」「疲労感」「血圧」に関する機能性表示の届出が受理されておりますが、当社グループでは新たに「睡眠」の機能性表示の取り組みを進めております。

「GABA」の海外展開では、中国において複数の世界的な大手メーカーに採用されており、売上を伸ばしております。

卵黄由来ペプチド「ボーンペップ」は、同製品が配合された「セノビックヨーグルト」がオハヨー乳業株式会社より新たに発売開始されました。同製品はロート製薬の粉末飲料「セノビック」のヨーグルトタイプの新製品であり、これに伴い「ボーンペップ」の売上も伸長しました。

この他、当社の根幹技術である鶏卵抗体「オボプロン」、葉酸を高含有した「葉酸たまご」、卵白由来ペプチド「ランペップ」、卵黄由来ヒアルロン酸産生促進素材「iHA(アイハ)」等の素材を販売しております。

開発面では、株式会社シャルレと共同開発をした卵黄由来の新規育毛活性成分「HGP(Hair Growth Peptide)」を配合した女性用のサプリメント「ビハツネス」が新たに発売されております。同製品は育毛用のサプリメントとして注目を集めており、今後も売上拡大に向けて開発、営業の両面から積極的な展開を進めてまいります。

この他、鶏軟骨由来ヒアルロン酸産生促進素材「HAS-II(ハス・ツー)」、卵白由来の筋力低下抑制素材「サルコペップ」、酵母由来の美白素材「セレプロン」等の開発を進めております。

OEM製品の販売では、サプリメントメーカー、製薬メーカー、および流通業者等に積極的な営業展開を行い、「GABA」を配合した機能性表示食品等を販売しております。

これらの結果、機能性素材事業の売上高は224百万円(前年同期比4.3%増)、セグメント利益28百万円(前年同期比22.2%増)となりました。

<通信販売事業>

「通信販売事業」では、当社の独自素材を用いたサプリメント及び化粧品を販売を行っております。当第1四半期連結累計期間では、引き続きラジオ、テレビ、WEBおよび紙媒体で、将来を見据えた積極的な広告展開を行ってまいりました。また、昨年8月に通信販売事業のコールセンター業務を行う新会社「株式会社ファーマフーズコミュニケーション」を設立し、新規顧客獲得の強化と、既存顧客へのサービス向上を行っております。

上記の施策により、主力製品である膝関節用サプリメント「タマゴサミン」、および活性卵殻膜を配合した美肌クリーム「珠肌のうみつ」の売上が伸長しております。当第1四半期連結累計期間では、特に「珠肌のうみつ

つ」等の化粧品の愛用者が増え、売上を大きく伸ばしております。広告展開では、上半期に重点的に広告投資を行う方針で進めてまいりました。

これらの結果、通信販売事業の売上高は646百万円（前年同期比53.6%増）、広告宣伝費700百万円を計上した等により、セグメント損失433百万円（前年同期は371百万円の損失）となりました。

<バイオメディカル事業>

バイオメディカル事業では、創薬事業、医薬品・診断薬開発目的のための抗体受託作製事業および素材・製品等に関して、分析・効能評価試験を行うL S I（Life Science Information）事業を行っております。

創薬事業では、当社独自のニワトリ抗体作製技術「A L A g e n e（アラジン・Avian Lead Antibody GENE）」を用いて、新規抗体医薬を創製する「悪性腫瘍プロジェクト」および「関節リウマチプロジェクト」に注力してまいりました。

「悪性腫瘍プロジェクト」に関しましては、複数の製薬企業との間でM T A（薬効確認のための試験薬供給契約）を締結し、提携交渉を継続しております。

当第1四半期連結累計期間では、抗体受託作製業務およびL S I事業の収入等により、売上高は8百万円（前年同期比58.8%増）、研究開発費の計上等により、セグメント損失33百万円（前年同期は25百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ193百万円増加し、4,665百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加187百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ619百万円増加し、1,595百万円となりました。これは主に、未払金の増加512百万円、長期借入金の増加40百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ426百万円減少し、3,070百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少425百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月期の連結業績予想につきましては、平成28年9月13日に発表しました業績予想値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は平成26年7月期より継続して、営業損失および営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。

この要因は平成24年8月より通信販売事業及び平成25年9月より創薬事業を本格的に開始し、先行投資を積極的に行って来たことによるものです。

先行投資により損失が継続していますが、各事業とも進展し、通信販売事業では、今後の収益基盤となる定期顧客数は順調に増加しております。

また従来からの主力事業である機能性素材事業においても、国内及び海外での営業展開を積極的に行ってきた結果、売上、利益ともは伸長しております。

これらの結果、前連結会計年度は経常利益24百万円と黒字を計上しております。

当社の財政状態は平成28年10月末時点で自己資本比率65.5%、手元資金2,289百万円を有しており、事業を継続するための十分な資金、安全性を維持しております。昨年8月には、通信販売事業の拡大に向けた資金を金融機関から借入れおり、中長期間にわたる資金を調達できております。今後も財務の安定性を維持しながら効率的な投資を行っていく方針であります。

以上により、当第1四半期連結会計期間末において、継続企業の前提に関する重要事象等は生じておりません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,101,254	2,289,110
受取手形及び売掛金	591,650	498,623
商品及び製品	211,695	291,665
仕掛品	3,544	5,744
原材料及び貯蔵品	72,178	33,058
その他	182,892	230,498
貸倒引当金	△3,484	△3,288
流動資産合計	3,159,730	3,345,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	277,949	275,222
機械装置及び運搬具(純額)	4,787	4,372
工具、器具及び備品(純額)	49,702	47,962
土地	387,863	387,863
リース資産(純額)	2,585	5,540
建設仮勘定	2,160	5,400
有形固定資産合計	725,048	726,361
無形固定資産		
のれん	1,341	1,173
その他	33,435	31,256
無形固定資産合計	34,776	32,430
投資その他の資産		
投資有価証券	101,673	99,658
関係会社長期貸付金	163,114	154,973
その他	289,970	308,493
貸倒引当金	△1,706	△1,645
投資その他の資産合計	553,052	561,480
固定資産合計	1,312,877	1,320,271
資産合計	4,472,607	4,665,683

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,480	121,694
短期借入金	50,000	50,000
未払金	74,547	587,452
1年内返済予定の長期借入金	199,464	206,688
賞与引当金	1,096	4,005
その他	100,148	124,514
流動負債合計	514,736	1,094,355
固定負債		
長期借入金	429,412	462,737
退職給付に係る負債	2,597	2,252
その他	29,082	36,264
固定負債合計	461,091	501,254
負債合計	975,828	1,595,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,031,278	2,031,278
資本剰余金	1,881,982	1,881,982
利益剰余金	△455,427	△880,427
株主資本合計	3,457,833	3,032,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,107	32,730
為替換算調整勘定	△9,082	△7,797
その他の包括利益累計額合計	25,024	24,933
新株予約権	11,022	8,712
非支配株主持分	2,899	3,594
純資産合計	3,496,779	3,070,073
負債純資産合計	4,472,607	4,665,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
売上高	640,968	878,850
売上原価	206,804	210,390
売上総利益	434,164	668,460
販売費及び一般管理費		
研究開発費	58,180	64,874
広告宣伝費	518,796	700,950
支払手数料	94,471	50,738
のれん償却額	167	167
その他	136,763	290,586
販売費及び一般管理費合計	808,379	1,107,317
営業損失(△)	△374,214	△438,857
営業外収益		
受取利息	2,868	2,289
受取配当金	384	-
補助金収入	15,803	5,671
持分法による投資利益	15,055	14,052
その他	1,967	1,508
営業外収益合計	36,080	23,521
営業外費用		
支払利息	1,086	930
為替差損	1,898	1,818
解約違約金	-	4,629
その他	299	2,362
営業外費用合計	3,285	9,740
経常損失(△)	△341,419	△425,076
特別利益		
新株予約権戻入益	2,135	2,310
特別利益合計	2,135	2,310
税金等調整前四半期純損失(△)	△339,284	△422,766
法人税等	700	1,538
四半期純損失(△)	△339,984	△424,305
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,502	694
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△338,482	△424,999

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)
四半期純損失(△)	△339,984	△424,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,914	△1,376
為替換算調整勘定	△6,727	1,285
その他の包括利益合計	△15,642	△91
四半期包括利益	△355,626	△424,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△354,124	△425,091
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,502	694

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年8月1日至平成27年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	機能性素材事業	通信販売事業	バイオメディカル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	214,843	420,808	5,317	640,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	214,843	420,808	5,317	640,968
セグメント利益又は損失(△)	23,367	△371,931	△25,650	△374,214

(注) セグメント利益(△損失)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年8月1日至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	機能性素材事業	通信販売事業	バイオメディカル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	224,009	646,396	8,444	878,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	224,009	646,396	8,444	878,850
セグメント利益又は損失(△)	28,552	△433,451	△33,958	△438,857

(注) セグメント利益(△損失)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。